

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	岐阜聖徳学園大学
設置者名	学校法人 聖徳学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
教育学部	学校教育課程	夜・通信	4	0	220	224	13	
外国語学部	外国語学科	夜・通信	0	0	52	52	13	
経済情報学部	経済情報学科	夜・通信	6	2	40	48	13	
看護学部	看護学科	夜・通信	0	0	88	88	13	
人文学部	人文学科	夜・通信	6	0	23	29	13	
(備考) 外国語学部は令和7年度より募集停止 人文学部は令和7年度開設								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学ホームページ上（教育情報公表）で公表している。URLアドレスは次のとおり。 https://www.shotoku.ac.jp/outline/disclosure/
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	岐阜聖徳学園大学
設置者名	学校法人聖徳学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学園ホームページ上で公表している。
<https://www.shotoku.jp/outline/officer.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	民間会社取締役社長	2025.5.27 ～ 2029 定時評議 員会まで	特に教学・人事に関 すること
非常勤	弁護士	2025.5.27 ～ 2029 定時評議 員会まで	特に人事・労務に関 すること
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岐阜聖徳学園大学
設置者名	学校法人 聖徳学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・ 本学のシラバスは、例年前年度の1月から各授業担当者に作成を依頼し、2月中旬までに作成する。2月中旬から各学部教務委員会によるシラバスチェックを実施し、必要に応じて改善の指示等を行い、3月下旬にWebシステムにて公開する。 ・ 本学では全学共通の「シラバス作成ガイドライン」を作成し、各学部教授会で周知している。	
授業計画書の公表方法	大学ホームページ上（教育情報公表）で公表している。URLアドレスは次のとおり。 https://www.shotoku.ac.jp/outline/disclosure/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ・ 単位の認定については学則第21条に定めている。 岐阜聖徳学園大学学則 第6章 単位の認定、卒業認定及び学位の授与 第21条 授業科目を履修し、単位修得の認定を受けたものには所定の単位を与える。 2 授業科目の単位修得の認定は、試験成績若しくは平常の学習成績、又は両者を総合して担当教員が行う。 3 成績評価は、秀（A:100～90点）、優（B:89～80点）、良（C:79～70点）、可（D:69～60点）、不可（F:60点未満）の5段階をもって表し、可以上を合格とし、不可は不合格とする。なお、他大学等で修得した単位を本学で認定した場合は認定（T）とする。 4 授業形態、科目の特性などにより、前項の成績評価が困難なものについては、合格（P）、不合格（NP）とする。 ・ 本学ではすべての科目において成績評価方法、割合及び評価基準をシラバスで明示している。シラバスで明示した方法により成績評価を行い、秀・優・良・可の成績評価の場合は合格とし、単位を認定している。 ・ 成績評価の基準は履修要覧に以下のように記載し、学生に示している。	

判定	成績評価等	成績評価等の基準	GP
合格	秀	A:100~90 点（特に優秀な成績）	4
	優	B:89~80 点（優れた成績）	3
	良	C:79~70 点（良好な成績）	2
	可	D:69~60 点（合格と認められる成績）	1
不合格	不可	F: 59 点以下（合格と認められない成績）	0
失格	失格	G:試験を棄権した場合、出席日数が不足した場合	0
認定	認定	T:学則に則り、単位の認定がされた場合	—

また、授業形態、科目の特性などにより、5段階評価（秀・優・良・可・不可）の成績評価が困難なものについては、次の表のとおりとする。

判定	成績評価等	成績評価等の基準	GP
合格	合格	P:単位を与える条件を満たしたもの	0
不合格	不合格	NP:単位を与える条件を満たさなかったもの	0

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

・本学ではGPA制度を導入している。履修した科目の成績評価をグレード・ポイント（GP）に置き換え算出する。

判定	成績評価等	成績評価等の基準	GP
合格	秀	A:100~90 点（特に優秀な成績）	4
	優	B:89~80 点（優れた成績）	3
	良	C:79~70 点（良好な成績）	2
	可	D:69~60 点（合格と認められる成績）	1
不合格	不可	F: 59 点以下（合格と認められない成績）	0
失格	失格	G:試験を棄権した場合、出席日数が不足した場合	0

・算出方法は以下の数式により行う。

$$GPA = \frac{\text{履修登録した全科目の}[\text{単位数} \times GP]\text{の合計}}{\text{履修登録した全科目の単位数の合計}}$$

GPAの算出にあたっては、小数点第2位までとし、割り切れない場合は、小数点第3位を四捨五入する。

・対象科目は、卒業要件に算入でき、5段階評価（秀・優・良・可・不可）または失格で成績を判定された科目を対象とする。

客観的な指標の算出方法の公表方法	大学ホームページ上（教育情報公表）で公表している。URLアドレスは次のとおり。 https://www.shotoku.ac.jp/outline/disclosure/
------------------	--

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ・本学では「卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）」を大学全体及び各学部で定めている。 【大学全体】 岐阜聖徳学園大学は、建学の精神にのっとり、主体的に考え、行動し、社会に貢献できる人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、次のような知識・技能・態度を備えた人材を養成し、この養成目標に到達した者に学士の学位を授与します。 ・人文・社会・自然の分野に関する基礎的知識を身につけ、それらを現代社会の諸問題と関連づけて理解することができる。(基礎教養) ・専門分野における高度な知識・技能を身につけ、状況に応じて適切に活用することができる。(専門的知識) ・多様な他者や文化に真摯に向き合い、相互理解に向けて主体的にコミュニケーションをとることができる。(他者理解) ・専門分野における国内外の多様な諸問題に幅広く関心をもち、問題解決に向けて他者と連携・協働し、専門性を発揮することができる。(地域・社会貢献) ・自立した職業人・社会人としての使命感と責任感をもち、自ら継続的に知識の習得と研鑽に努めることができる。(自己形成・自己啓発) ・いのちを尊重する豊かな人間性、高い倫理観、自己の能力を社会に還元する強い志をもち、社会人としての規範に従って行動できる。(態度) 【教育学部】 教育学部は、建学の精神にのっとり、義務教育諸学校等・保育所における有為な教育者、保育者等を育成することを目的としています。この目的を達成するために、次のような知識・技能・態度を備えた人材を養成し、この養成目標に到達した者に学士（教育）の学位を授与します。 1 人文・社会・自然の分野に関する基礎的知識を身につけ、それらを現代社会の諸問題と関連づけて理解することができる。(基礎教養) 2 専攻する各教科に関する専門的知識と能力を身につけ、児童生徒の実態に合わせて創造的な学習指導方法を探求することができる。(教科教育) 3 生徒指導・教育相談、学級経営などを、子ども理解に基づき、他の教員等と協働して実践できる。(子ども理解) 4 学校教育と学校を取り巻く現代社会の諸問題に関心をもち、問題解決のために情報を収集・分析・整理することができる。(学校と社会) 5 教育者、保育者等の専門的職業人としての使命感・責任感をもち、自ら学び求める姿勢をもって自己形成を目指すことができる。(自己形成) 6 いのちを尊重する豊かな人間性、高い倫理観、自己の能力を社会に還元する強い志によって、社会人としての規範に従って行動できる。(態度)

【外国語学部】

外国語学部は、建学の精神にのっとり、国際的視野に立ち、主体的に考え、表現し、行動する言語コミュニケーション能力を備えた人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、次のような知識・技能・態度を備えた人材を養成し、この養成目標に到達した者に学士（外国語）の学位を授与します。

- 1 人文・社会・自然の分野に関する基礎的知識を身につけ、それらを現代社会の諸問題と関連づけて理解することができる。（基礎教養）
- 2 言語体系としての英語を正しく理解し、文学作品を通して多様な表現を理解することができる。（言語・文学）
- 3 さまざまな国際的な場において適切なコミュニケーションをとることができる。（コミュニケーション能力）
- 4 世界各国の文化と、異文化間・国家間の関係について幅広く理解することができる。（異文化・国際理解）
- 5 言語・異文化・国際事情に関する知識とコミュニケーション技能を、国際的な舞台において、または中学校・高等学校等において活用することができる。（実務・英語教育）
- 6 いのちを尊重する豊かな人間性、高い倫理観、自己の能力を社会に還元する強い志によって、社会人としての規範に従って行動できる。（態度）

【経済情報学部】

経済情報学部では、建学の精神にのっとり、経済、経営、情報分野の知識、技術を身につけ、社会貢献し、実社会の発展のために尽くそうという意欲的な人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、次のような知識・技能・態度を備えた人材を養成し、この養成目標に到達した者に学士（経済学）の学位を授与します。

- 1 人文・社会・自然の分野に関する基礎的知識を身につけ、それらを現代社会の諸問題と関連づけて理解することができる。（基礎教養）
- 2 経済、経営、情報の専門知識を修得し、経済、経営、情報のグローバル化にかかわる多様な諸問題に対応する知識や、地域社会に貢献する知識を身に付けることができる。（社会事情に対応する応用力）
- 3 変化する国内外の社会にかかわる諸問題に関心を持ち、その本質を理解することを心掛け、情報の収集・分析をすることができる。（情報収集・分析に関する力）
- 4 各自の関心に即した高度な専門知識を修得する基礎を築くことができる。（基礎力・創造的思考力）
- 5 社会人としてのコミュニケーション能力を身につけることができる。（コミュニケーション能力）
- 6 いのちを尊重する豊かな人間性、高い倫理観、自己の能力を社会に還元する強い志によって、社会人としての規範に従って行動できる。（態度）

【看護学部】

看護学部は、建学の精神にのっとり、深い人間理解と高い倫理観を備えた看護専門職として社会に貢献できる人材の養成を目的としています。この目的を達成するために、次のような知識・技能・態度を備えた人材を養成し、この養成目標に到達した者に学士（看護学）の学位を授与します。

- 1 人文・社会・自然の分野に関する基礎的知識を身につけ、それらを現代社会の諸問題と関連づけて理解することができる。（基礎教養）
- 2 自分と他者に対して素直に向き合い、寛容の心をもって相互関係を築くことができる。（他者理解・コミュニケーション能力）
- 3 専門的知識や技術を統合・汎用し、科学的根拠に基づいて多様な人々に対して柔軟かつ創造的に看護を実践することができる。（専門的知識・発展）
- 4 対象の最善の利益を追求する同一目的集団であることを常に認識し、保健・医療・福祉・教育・行政等の多職種と連携・協働し、地域社会に貢献できる。（地域・社会貢献）
- 5 看護に対する情熱や使命感と国際的視野をもち、自立した看護専門職として継続的に自己研鑽できる。（国際理解・自己形成・自己啓発）
- 6 いのちを尊重する豊かな人間性、高い倫理観、自己の能力を社会に還元する強い志によって、社会人としての規範に従って行動できる。（態度）

【人文学部】

人文学部は、建学の精神にのっとり、多文化共生社会において文化背景の異なる人々と相互理解を深め、友好な人間関係を構築し、協働して問題解決のできる人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、次のような知識・技能・態度を備えた人材を養成し、この目標に達したものに学士（人文学）の学位を授与します。

- 1 人文・社会・自然の分野に関する基礎的知識を身につけ、それらを現代社会の諸問題と関連づけて理解することができる。（基礎教養）
- 2 国際共通語としての英語の理念を正しく理解すると共に、第一言語（母語）を意識的に使用することによって、様々な文化背景をもつ人々と対話をすることができる。（コミュニケーション能力）
- 3 英語・日本語を言語的に的確に分析する能力、並びに言語の背後にある文化、歴史地理に関する各専門知識を修得し、多文化共生社会における様々な問題に対応することができる。（多文化共生社会に対応できる力）
- 4 岐阜という地域特性を活かし、地域の課題を主体的に発見し、協働して解決することができる。（地域・社会貢献）
- 5 言語・文化・歴史地理に関する知識とコミュニケーション技能を身に付け、情報及び情報技術の理解を深めると共に活用実践力を養い、様々な国際的な場面で適切に活用することができる。（情報発信能力）
- 6 いのちを尊重する豊かな人間性、高い倫理観、自己の能力を社会に還元する強い志によって、社会人としての規範に従って行動できる。（態度）

・本学では学則第 22 条において「本学に 4 年以上在学し、第 14 条、第 15 条、第 16 条及び第 17 条の規定により所定の単位を修得した者は、学部教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。」としている。原則として 2 月に開催する各学部教授会において、後期修得科目をもって所定の単位を修得した者に対し卒業判定会議を行い、承認された者に対して学長が卒業を認定する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

大学ホームページ上（教育情報公表）で公表している。URL
アドレスは次のとおり。
<https://www.shotoku.ac.jp/outline/disclosure/>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	岐阜聖徳学園大学
設置者名	学校法人 聖徳学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.shotoku.jp/report/index.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.shotoku.jp/report/index.html
財産目録	https://www.shotoku.jp/report/index.html
事業報告書	https://www.shotoku.jp/report/index.html
監事による監査報告(書)	https://www.shotoku.jp/report/index.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:	対象年度:	)
公表方法:		
中長期計画(名称:	対象年度:	)
公表方法:		

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。 https://www.shotoku.ac.jp/outline/activities/self-assessment.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 令和6(2024)年4月、公益財団法人大学基準協会から大学評価基準に適合していると認定を受ける。認定期間は令和13(2031)年3月31日まで。認証評価の結果については大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。 https://www.shotoku.ac.jp/outline/activities/self-assessment.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 教育学部
教育研究上の目的（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。） https://www.shotoku.ac.jp/outline/purpose.html
（概要） 建学の精神にのっとり、教職に対する強い情熱をもち教師力、人間力を備えた義務教育教員の養成を目指す。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。） https://www.shotoku.ac.jp/academics/education/diploma-policy.html
（概要） 教育学部は、建学の精神にのっとり、義務教育諸学校等・保育所における有為な教育者、保育者等を育成することを目的としています。この目的を達成するために、次のような知識・技能・態度を備えた人材を養成し、この養成目標に到達した者に学士（教育）の学位を授与します。 1 人文・社会・自然の分野に関する基礎的知識を身に付け、それらを現代社会の諸問題と関連づけて理解することができる。（基礎教養） 2 専攻する各教科に関する専門的知識と能力を身に付け、児童生徒の実態に合わせて創造的な学習指導方法を探求することができる。（教科教育） 3 生徒指導・教育相談、学級経営などを、子ども理解に基づき、他の教員等と協働して実践できる。（子ども理解） 4 学校教育と学校を取り巻く現代社会の諸問題に関心をもち、問題解決のために情報を収集・分析・整理することができる。（学校と社会） 5 教育者、保育者等の専門的職業人としての使命感・責任感をもち、自ら学び求める姿勢をもって自己形成を目指すことができる。（自己形成） 6 いのちを尊重する豊かな人間性、高い倫理観、自己の能力を社会に還元する強い志によって、社会人としての規範に従って行動できる。（態度）
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。） https://www.shotoku.ac.jp/academics/education/curriculum-policy.html
（概要） 教育学部は、建学の精神にのっとり、義務教育諸学校等・保育所における有為な教育者、保育者等を育成することを目的としています。この目的を達成するために、次のように教育課程を編成します。 1 建学の精神の理解を図るため、「宗教学」を全学共通の必修科目として開講します。 2 1、2 年次には、大学教育への導入のための「基礎セミナー」、基礎的な学力を養うための教養基礎科目を開講し、現代社会の諸問題ならびに教育の問題の理解を図ります。 3 実践的指導力に優れた教員等の養成を目指し、国語、社会、数学、理科、音楽、体育、英語、保育初等教育、特別支援教育、学校心理の各専修の専門性を生かしつつ、初等教育と中等教育を統合して学ぶことのできるカリキュラムを編成します。 4 教科科目は、教師力の養成を主眼として、各専修の基礎となる学問の体系に基づき、精選した内容で開講します。3 年次には「専門演習」、4 年次には「卒業研究」を必修で開講し、専門的な知識・技能を深め、児童生徒の実態に合わせた総合的な学習指導を探求できるように導きます。 5 子ども理解・教職理解のために、「学校ふれあい体験」、「教育実践観察」等の体験型の

科目を導入し、早くから子どもや学校現場に触れる機会を設け、学校教育と学校を取り巻く社会の諸問題に関心を持ち、問題解決に取り組めるように計らいます。 6 「教育D X・探究活動I・II」等の科目を導入し、学校教育と学校を取り巻く現代社会の諸問題を解決するための情報活用能力を学ぶことのできるカリキュラムを編成します。 7 「保育体験演習」、「遊び学」等の体験型の科目を導入し、小学校教育を見据えた幼児教育・保育を学ぶことのできるカリキュラムを編成します。 8 1年次から、教職の意義、指導法、生徒指導等を学ぶための教職科目、実践的な教師力の養成ならびに専門の学芸を教授するための教科科目を開設し、教員集団の一員として協働できるよう実践カリキュラムを実施します。 以上のカリキュラムを通じて、教育者、保育者等の専門的職業人がもつべき知識と技能、思考力、判断力、表現力、豊かな人間性を育みます。 これらの学修成果の評価として、本学が推進するクリスタルプランに基づき、1年次から4年次にわたる共通の13視座を設け、自己評価することで、自己形成のステップアップを跡づけます。学習到達度のチェックにおいてはGPAを活用します。3年次終了時には、卒業研究を履修するための修得単位数のチェックを行います。卒業研究については、ルーブリックを活用して評価します。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URLアドレスは次のとおり。） https://www.shotoku.ac.jp/academics/education/admission-policy.html
（概要） 教育学部は、建学の精神にのっとり、義務教育諸学校等・保育所における有為な教育者、保育者等を育成することを目的としています。この目的を達成するために、次のようにアドミッション・ポリシーを定めています。 1 求める人物像 〔知識・技能〕 教育学部で学修するうえで必要となる基礎的・基本的な知識・技能を有している人 〔思考力・判断力・表現力〕 さまざまな見方・考え方を働かせて、なすべきことを適切に判断し行動できる人 〔主体性・多様性・協働性〕 将来を担う子どもたちを育てることに強い意欲を持ち、多様な価値観を受容しつつ他者と協働して物事に取り組める人 2 大学入学までに身につけてほしいこと ・確かな学習習慣及び社会への広い関心 ・志望する専修に関係の深い学習や活動に幅広く取り組む姿勢 3. 入学者選抜方法 〔一般選抜〕 調査書により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、個別学力検査・実技により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を多面的・総合的に評価します。 〔一般選抜 標準科目方式共通テスト併用〕 調査書により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、個別学力検査、大学入学共通テストの得点により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を多面的・総合的に評価します。 〔総合型選抜〕 出願書類（調査書等）により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、小論文・基礎学力検査・実技により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を、面接・グループディスカッション等により「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を、グループワークにより「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を多面的・総合的に評価します。 〔学校推薦型選抜〕 出願書類（調査書等）により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、基礎学力検査・実技により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を、面接により「思考力・判

断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を多面的・総合的に評価します。 〔大学入学共通テスト利用選抜〕 調査書により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、大学入学共通テストの得点により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を多面的・総合的に評価します。 〔大学入学共通テスト利用選抜〕 調査書により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、大学入学共通テストの得点により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を多面的・総合的に評価します。 〔特別選抜〕 出願書類により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、基礎学力検査により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を、面接により「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を多面的・総合的に評価します。 本学の入学者選抜の改善状況や優れた取組としては、2025 年度入学者選抜総合型選抜（特別奨学生選抜方式・公募制推薦方式前期日程）において、地方会場を設けた。また、一般選抜（前期日程）において、方式により出題範囲を分けることにより、受験生にとって受験しやすい体制を整えた。

学部等名 外国語学部
教育研究上の目的（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。 https://www.shotoku.ac.jp/outline/purpose.html)
（概要） 外国語学部外国語学科は、建学の精神にのっとり、国際的視野に立ち、主体的に考え、表現し、行動する言語コミュニケーション能力を備えた人材を育成することを目指す。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。 https://www.shotoku.ac.jp/academics/languages/diploma-policy.html)
（概要） 外国語学部は、建学の精神にのっとり、国際的視野に立ち、主体的に考え、表現し、行動する言語コミュニケーション能力を備えた人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、次のような知識・技能・態度を備えた人材を養成し、この養成目標に到達した者に学士（外国語）の学位を授与します。 1 人文・社会・自然の分野に関する基礎的知識を身につけ、それらを現代社会の諸問題と関連づけて理解することができる。（基礎教養） 2 言語体系としての英語を正しく理解し、文学作品を通して多様な表現を理解することができる。（言語・文学） 3 さまざまな国際的な場において適切なコミュニケーションをとることができる。（コミュニケーション能力） 4 世界各国の文化と、異文化間・国家間の関係について幅広く理解することができる。（異文化・国際理解） 5 言語・異文化・国際事情に関する知識とコミュニケーション技能を、国際的な舞台において、または中学校・高等学校等において活用することができる。（実務・英語教育） 6 いのちを尊重する豊かな人間性、高い倫理観、自己の能力を社会に還元する強い志によって、社会人としての規範に従って行動できる。（態度）
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。 https://www.shotoku.ac.jp/academics/languages/curriculum-policy.html)

外国語学部は、建学の精神にのっとり、国際的視野に立ち、主体的に考え、表現し、行動する言語コミュニケーション能力を備えた人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、次のように教育課程を編成します。 1 建学の精神の理解を図るため、「宗教学」を全学共通の必修科目として開講します。 2 英語の基本技能(読む・書く・聴く・話す)を習得し、語学力・コミュニケーション能力を高めるために習熟度別少人数クラスを編成します。 3 幅広い教養を身に付け自信を持って国際社会に出るために、外国事情や異文化研究などのコンテンツをすべて英語で学ぶ授業を開講します。 4 多方面で活躍できる国際人になるために、IT 技術、日本語教授法、実用中国語などを習得できる専門科目や、キャリアを意識したキャリア支援科目を開講します。 5 英語教員として常に「ことば」を意識した学究姿勢を身に付けるために、「第二言語習得論」、「教育英語研究」などの専門科目を開講します。 6 3 年次後期、4 年次前後期に卒業研究を必修で開講し、専門的な知識・技能を深めます。 以上のカリキュラムを通じて、多彩で質の高い国際社会で活躍できる人材、国際言語としての英語の機能をよく理解した視野の広い教員を育成します。 これらの学修成果は、英語 Can-Do リストによる基本技能の自己評価、卒業要件科目の評価による累計 GPA、3 年次終了時に 4 年次「卒業研究 II・III」を履修するための最低修得単位数、TOEIC テストのスコア、卒業研究の評価ルーブリックにより評価します。 さらに、英語教員を希望する学生は、中学校・高等学校教育実習履修要件による評価も行います。
入学者の受入れに関する方針（募集停止のため公表なし） （概要） 募集停止のため公表なし

学部等名 経済情報学部
教育研究上の目的（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。） https://www.shotoku.ac.jp/outline/purpose.html
（概要） 建学の精神にのっとり、社会で役立つ実践的な経済、経営、情報分野の教育を行い、主体性・企画力・コミュニケーション能力等に富んだ有能な人材の育成を目指す。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。） https://www.shotoku.ac.jp/academics/economics/diploma-policy.html
（概要） 経済情報学部では、建学の精神にのっとり、経済、経営、情報分野の知識、技術を身に付け、社会貢献し、実社会の発展のために尽くそうという意欲的な人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、次のような知識・技能・態度を備えた人材を養成し、この養成目標に到達した者に学士(経済学)の学位を授与します。 1 人文・社会・自然の分野に関する基礎的知識を身に付け、それらを現代社会の諸問題と関連づけて理解することができる。(基礎教養)

2 経済、経営、情報の専門知識を修得し、経済、経営、情報のグローバル化にかかわる多様な諸問題に対応する知識や、地域社会に貢献する知識を身に付けることができる。(社会事情に対応する応用力) 3 変化する国内外の社会にかかわる諸問題に関心を持ち、その本質を理解することを心掛け、情報の収集・分析をすることができる。(情報収集・分析に関する力) 4 各自の関心に即した高度な専門知識を修得する基礎を築くことができる。(基礎力・創造的思考力) 5 社会人としてのコミュニケーション能力を身につけることができる。(コミュニケーション能力) 6 いのちを尊重する豊かな人間性、高い倫理観、自己の能力を社会に還元する強い志によって、社会人としての規範に従って行動できる。(態度)
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。） https://www.shotoku.ac.jp/academics/economics/curriculum-policy.html （概要） 経済情報学部では、建学の精神にのっとり、経済、経営、情報の幅広い知識、技術を身に付け、社会貢献し、実社会の発展のために尽くそうという意欲的な人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、次のように教育課程を編成します。 1 建学の精神の理解を図るため、「宗教学」を全学共通の必修科目として開講します。 2 教養基礎科目では、幅広い知識、柔軟性のある思考力を身につけ、「共に支え合い創造し未来を切り拓く力」を養います。 3 1、2年次には少人数クラスの「基礎セミナー」（必修）を開講し、1年次では大学での学びの導入、また大学生活に慣れることや友人とのコミュニケーションする機会を設けます。2年次ではプレゼンテーション能力を養います。 4 1年次に「キャリアデザイン」を開講しキャリア形成への意識向上を図ります。さらに、2、3年次では課題解決能力の向上や就職活動への実践的知識と技術を身につけます。 5 3、4年次にゼミ形式で学ぶ「専門演習」（必修）、「卒業研究」を開講し、専門分野での問題発見・解決能力・創造的思考力を養い、コミュニケーション能力を高めます。 6 「経済」の科目では「経済の基礎」の科目を配置し、経済の基礎を固める科目を提供します。また「経済の分析」、「経済の考え方」の科目を配置し、経済の専門を学ぶ科目を開講します。「経営」の科目では、企業のマネジメントについて学ぶ科目を開講します。「情報」の科目では情報の基礎からプログラミングや情報システムについて学ぶ科目を開講します。さらに、最新の経済、経営、情報などの学際領域について学ぶ科目を開講します。 7 数理・データサイエンス・A I について学ぶ科目を開設します。 以上のカリキュラムを通じて、学生各人が思い描く将来像を実現し、社会貢献し、実社会の発展に尽くすことができる人材を育成することを目標としています。これらの学修成果は、カリキュラムマップに基づく科目の修得単位数、学年末の修得単位数およびG P A、3・4年次に「専門演習」を履修するための最低修得単位数により評価します。また、学生各人が、学修成果アンケートを用いて自己評価することで学びを深化させます。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。） https://www.shotoku.ac.jp/academics/economics/admission-policy.html （概要） 経済情報学部は、建学の精神にのっとり、経済、経営、情報の幅広い知識、技術を身につけ、社会貢献し、実社会の発展のために尽くそうという意欲的な人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、次のようにアドミッション・ポリシーを定めています。 1 求める人物像 〔知識・技能〕 ・経済情報学部で学修するために必要な日本語（国語）や数学の基礎学力を備えている人

・高等学校在学中に簿記・情報・英語などの能力試験に挑戦し、大学でもその能力を伸ばす努力を惜しまない人

〔思考力・判断力・表現力〕

・好奇心にあふれ、物事や状況に対して適切な判断をし、さまざまな見方や考え方ができる人

・地域や社会における経済に関心があり、さまざまな人の意見を聴き、自分の考えを伝えることができる人

〔主体性・多様性・協働性〕

・経済、経営、情報の分野に関心があり、そのスキルを主体的に身につける意欲がある人

・大学生活を通してキャリア形成に努め、実社会の発展のために尽くそうという気持ちを持った活力ある人

・高校生活を通じ、生徒会活動やクラブ活動等に積極的に参加するなど、他者と協働する能力を備えている人

2 大学入学までに身につけてほしいこと

・さまざまな見方や考え方をするための基になる、高等学校で学ぶ教科全般に関する知識や技能

・自分の考えを論理的に相手に伝えるための、文章や口頭による基本的な表現力

・社会への関心を幅広く持ち、意欲的に探究し、協働する姿勢

3. 入学者選抜方法

〔一般選抜〕

調査書により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、個別学力検査により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を多面的・総合的に評価します。

〔一般選抜 標準科目方式共通テスト併用〕

調査書により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、個別学力検査、大学入学共通テストの得点により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を多面的・総合的に評価します。

〔総合型選抜〕

出願書類（調査書等）により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を、小論文により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を、面接により「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を、プレゼンテーション等により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を多面的・総合的に評価します。

〔学校推薦型選抜〕

出願書類（調査書等）により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、基礎学力検査により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を、面接（口頭試問含む）により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を多面的・総合的に評価します。

〔大学入学共通テスト利用選抜〕

調査書により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、大学入学共通テストの得点により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を多面的・総合的に評価します。

〔特別選抜〕

出願書類により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、基礎学力検査により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を、面接により「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を多面的・総合的に評価します。

本学の入学者選抜の改善状況や優れた取組としては、2025年度入学者選抜総合型選抜（特別奨学生選抜方式・公募制推薦方式前期日程）において、地方会場を設けた。また、一般選抜（前期日程）において、方式により出題範囲を分けることにより、受験生にとって受験しやすい体制を整えた。

学部等名 看護学部
教育研究上の目的（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。） https://www.shotoku.ac.jp/outline/purpose.html
（概要） 建学の精神にのっとり、社会の要請に応じて、心の教育を基盤とした、深い人間理解と高い倫理観を備えた看護専門職として社会に貢献できる人材を養成することを目指す。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。） https://www.shotoku.ac.jp/academics/nursing/diploma-policy.html
（概要） 看護学部は、建学の精神にのっとり、深い人間理解と高い倫理観を備えた看護専門職として社会に貢献できる人材の養成を目的としています。この目的を達成するために、次のような知識・技能・態度を備えた人材を養成し、この養成目標に到達した者に学士（看護学）の学位を授与します。 1 人文・社会・自然の分野に関する基礎的知識を身に付け、それらを現代社会の諸問題と関連づけて理解することができる。（基礎教養） 2 自分と他者に対して素直に向き合い、寛容の心をもって相互関係を築くことができる。（他者理解・コミュニケーション能力） 3 専門的知識や技術を統合・汎用し、科学的根拠に基づいて多様な人々に対して柔軟かつ創造的に看護を実践することができる。（専門的知識・発展） 4 対象の最善の利益を追求する同一目的集団であることを常に認識し、保健・医療・福祉・教育・行政等の多職種と連携・協働し、地域社会に貢献できる。（地域・社会貢献） 5 看護に対する情熱や使命感と国際的視野をもち、自立した看護専門職として継続的に自己研鑽できる。（国際理解・自己形成・自己啓発） 6 いのちを尊重する豊かな人間性、高い倫理観、自己の能力を社会に還元する強い志によって、社会人としての規範に従って行動できる。（態度）
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。） https://www.shotoku.ac.jp/academics/nursing/curriculum-policy.html
（概要） 看護学部は、建学の精神にのっとり、深い人間理解と高い倫理観を備えた看護専門職として社会に貢献できる人材の養成を目的としています。この目的を達成するために、次のように教育課程を編成します。 1 建学の精神の理解を図るため、「宗教学」を全学共通の必修科目として開講します。 2 豊かな人間性や幅広い見識を修得し、科学的思考の基盤を形成するために、コミュニケーション能力、基礎的な学力、論理的思考を養うための教養基礎科目を配置します。 3 人を身体的・精神的・社会的に統合した存在として深く理解し、多様な対象に柔軟に対応できるように多角的な専門基礎科目を配置します。 4 科学的根拠に基づいた看護の実践に必要な臨床判断を行うための基礎的能力を養い、自律的な実践ができるよう講義・演習・実習を通して専門的知識・技術を段階的に修得し、将来の高度医療専門職となるための専門科目を配置します。 5 保健・医療・福祉・教育・行政等様々な専門職との連携における看護職と多職種の役割を理解し、連携・協働しながら地域社会に貢献できる能力や国際的な視野を育成するために、専門科目（看護の統合）を配置します。 6 4年間を通して、いのちを尊重する豊かな人間性、高い倫理観を備え、自律した看護

専門職として看護を探究・発展させていく看護実践能力を教授するカリキュラムを実施します。

臨床実習で発見した実践的課題や、授業に関心を抱いた探究すべき科学的課題等について「卒業研究」を行い、看護学の発展に貢献できる基礎的な研究能力や自己研鑽し続ける姿勢を養います。

保健師教育課程・養護教諭教育課程は選択制とします。それぞれの専門性に関する必修科目を配置します。

以上のカリキュラムを通じて、看護専門職として持つべき知識と技術、思考力・判断力を備え、持続可能な社会に貢献できる人材を育成します。

看護の特徴として科目は積み上げ方式であり、授業の進度に合わせシラバスに学修達成目標を明示したうえで成績評価を行い、学修成果の評価は、実習評価を含め適切に行います。また、学修到達度のチェックにおいてはGPAを活用します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URLアドレスは次のとおり。）

<https://www.shotoku.ac.jp/academics/nursing/admission-policy.html>

（概要）

看護学部は、建学の精神にのっとり、深い人間理解と高い倫理観を備えた看護専門職として社会に貢献できる人材の養成を目的としています。この目的を達成するために、次のようにアドミッション・ポリシーを定めています。

1 求める人物像

〔知識・技能〕

- ・看護の専門的知識・技能を学ぶ基礎学力を持つ人

〔思考力・判断力・表現力〕

- ・論理的な思考力・判断力・表現力の基礎が備わっている人

〔主体性・多様性・協働性〕

- ・他者を尊重しながら積極的に関わり、協調性のある人
- ・日々進歩する医療に対応するために、常に学び続け、課題探求のできる人
- ・建学の精神を理解し社会に貢献することを喜びとする人
- ・主体的に学習・生活・健康などの自己管理ができる人

2 大学入学までに身につけてほしいこと

- ・予習・復習の学習習慣

- ・高等学校卒業程度の生物、化学の基礎的知識

- ・勉学に取り組むための基礎的体力、集中力、忍耐力

- ・基礎的な知識・技能に基づき、自分の考えをまとめ、他者に伝えるための思考力、判断力、表現力

- ・社会に関心を持ち、学内外の様々な活動において人と礼儀正しく協働できる態度

3. 入学者選抜方法

〔一般選抜〕

調査書により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、個別学力検査により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を多面的・総合的に評価します。

〔一般選抜 標準科目方式共通テスト併用〕

調査書により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、個別学力検査、大学入学共通テストの得点により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を多面的・総合的に評価します。

〔総合型選抜〕

出願書類（調査書等）により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を、小論文・基礎学力検査により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を、面接・ディスカッションにより「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を多面的・総合的に評価します。

〔学校推薦型選抜〕

出願書類（調査書等）により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、小論文・基礎学力検査により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を、面接により「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を多面的・総合的に評価します。 〔大学入学共通テスト利用選抜〕 調査書により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、大学入学共通テストの得点により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を多面的・総合的に評価します。 〔特別選抜〕 出願書類により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、小論文により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を、面接により「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を多面的・総合的に評価します。 本学の入学者選抜の改善状況や優れた取組としては、2025 年度入学者選抜総合型選抜（特別奨学生選抜方式・公募制推薦方式前期日程）において、地方会場を設けた。また、一般選抜（前期日程）において、方式により出題範囲を分けることにより、受験生にとって受験しやすい体制を整えた。
--

学部等名 人文学部
教育研究上の目的（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。） https://www.shotoku.ac.jp/outline/purpose.html
（概要） 建学の精神にのっとり、多文化共生社会において文化背景の異なる人々と相互理解を深め、友好な人間関係を構築し、協働して問題解決のできる人材を育成することを目指す。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。） https://www.shotoku.ac.jp/academics/humanities/diploma-policy.html
（概要） 人文学部は、建学の精神にのっとり、多文化共生社会において文化背景の異なる人々と相互理解を深め、友好な人間関係を構築し、協働して問題解決のできる人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、次のような知識・技能・態度を備えた人材を養成し、この目標に達したものに学士（人文学）の学位を授与します。 1 人文・社会・自然の分野に関する基礎的知識を身に付け、それらを現代社会の諸問題と関連づけて理解することができる。（基礎教養） 2 国際共通語としての英語の理念を正しく理解すると共に、第一言語（母語）を意識的に使用することによって、様々な文化背景をもつ人々と対話をすることができる。（コミュニケーション能力） 3 英語・日本語を言語的に的確に分析する能力、並びに言語の背後にある文化、歴史地理に関する各専門知識を修得し、多文化共生社会における様々な問題に対応することができる。（多文化共生社会に対応できる力） 4 岐阜という地域特性を活かし、地域の課題を主体的に発見し、協働して解決することができる。（地域・社会貢献） 5 言語・文化・歴史地理に関する知識とコミュニケーション技能を身に付け、情報及び情報技術の理解を深めると共に活用実践力を養い、様々な国際的な場面で適切に活用することができる。（情報発信能力） 6 いのちを尊重する豊かな人間性、高い倫理観、自己の能力を社会に還元する強い志によって、社会人としての規範に従って行動できる。（態度）
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。） https://www.shotoku.ac.jp/academics/humanities/curriculum-policy.html

(概要) 人文学部は、建学の精神にのっとり、多文化共生社会において文化背景の異なる人々と相互理解を深め、友好な人間関係を構築し、協働して問題解決のできる人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、次のような教育課程を編成します。 1 建学の精神の理解を図るため、「宗教学」を全学共通の必修科目として開講します。 2 英語を多文化共生社会に必要なコミュニケーション言語の一つとして位置づけ、全専攻の必修科目として開講します。 3 1・2年次には基礎セミナーを開講し、大学での学びのあり方を考え、将来の職業選択への意識を高めます。 4 急速に変化する情報化社会に対応できるようにするために、情報実務、データサイエンスに関する科目を開講します。 5 各専攻では言語、文化、歴史地理に関する専門分野の科目を開講します。 6 3年次後期、4年次前後期に卒業研究を必修で開講し、専門的な知識・技能を深めます。 以上のカリキュラムを通じて、言語の機能、言語の背後にある文化・歴史地理についての幅広い知識を有し、国内・国外を問わず多文化共生社会で活躍できる人材を育成します。 これらの学修成果は、卒業要件科目の評価による累計 GPA、3年次終了時に4年次「卒業研究Ⅱ・Ⅲ」を履修するための最低修得単位数、卒業研究の評価ルーブリックにより評価します。 入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URLアドレスは次のとおり。） https://www.shotoku.ac.jp/academics/humanities/admission-policy.html
(概要) 人文学部は、建学の精神にのっとり、多文化共生社会において文化背景の異なる人々と相互理解を深め、友好な人間関係を構築し、協働して問題解決のできる人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、次のようにアドミッション・ポリシーを定めています。 1 求める人物像 〔知識・技能〕 ・人文学部で学修するために必要な日本語と外国語の基礎的な運用能力を備えている人 ・言語や言語をとりまく文化・歴史地理に関心をもち、その学修に意欲をもつ人 〔思考力・判断力・表現力〕 ・自国および他国の歴史・文化・社会などを異なる視点から探求できる人 ・様々な意見や情報を読み解き、自分の言葉で分かりやすく発信できる人 〔主体性・多様性・協働性〕 ・地域社会の課題に関心をもち、その解決に向けて社会で活躍したい人 ・自文化に対する深い知識を基盤にして、異文化の多様な価値観の理解を目指す人 ・他者の意見に耳を傾け、仲間と協力して課題解決に向けた努力ができる人 2 大学入学までに身につけてほしいこと ・高等学校の各教科に関する基礎的・基本的な知識と技能 ・基礎的な知識・技能に基づき、自分の考えをまとめ、他者に伝える思考力、判断力、表現力 ・真摯に勉学に取り組む姿勢と、学内外の様々な活動において人と協働できる態度 3. 入学者選抜方法 〔一般選抜〕 調査書により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、個別学力検査により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を多面的・総合的に評価します。

〔一般選抜 標準科目方式共通テスト併用〕 調査書により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、個別学力検査、大学入学共通テストの得点により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を多面的・総合的に評価します。 〔総合型選抜〕 出願書類（調査書等）により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、面接により「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を、プレゼンテーション・ディスカッション等により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を多面的・総合的に評価します。 〔学校推薦型選抜〕 出願書類（調査書等）により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、基礎学力検査により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を、面接により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を多面的・総合的に評価します。 〔大学入学共通テスト利用選抜〕 調査書により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、大学入学共通テストの得点により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を多面的・総合的に評価します。 〔特別選抜〕 出願書類により「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を、基礎学力検査により「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を、面接により「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を多面的・総合的に評価します。 本学の入学者選抜の改善状況や優れた取組としては、2025年度入学者選抜総合型選抜（特別奨学生選抜方式・公募制推薦方式前期日程）において、地方会場を設けた。また、一般選抜（前期日程）において、方式により出題範囲を分けることにより、受験生にとって受験しやすい体制を整えた。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：（公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。） https://www.shotoku.ac.jp/outline/disclosure/
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	2 人	－					2 人
教育学部	－	39 人	24 人	8 人	0 人	0 人	71 人
外国語学部	－	5 人	3 人	3 人	0 人	0 人	11 人
経済情報学部	－	14 人	7 人	1 人	0 人	0 人	22 人
看護学部	－	10 人	3 人	5 人	7 人	2 人	27 人
人文学部	－	4 人	2 人	2 人	1 人	0 人	9 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
2 人		152 人					154 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://www.acoffice.jp/gsghp/KgApp					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに
進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
教育学部	330 人	387 人	117.3%	1320 人	1527 人	115.7%	-人	0 人
外国語学部	0 人	0 人	0%	450 人	245 人	54.4%	-人	0 人
経済情報学部	150 人	174 人	116%	600 人	659 人	110%	-人	0 人
看護学部	80 人	77 人	96.3%	320 人	316 人	98.8%	-人	0 人
人文学部	150 人	126 人	84%	150 人	126 人	84%	-人	-人
合計	710 人	764 人	107.6%	2840 人	2873 人	101.2%	-人	0 人
(備考) 外国語学部は令和 7 年度募集停止 人文学部は令和 7 年度開設 編入学定員は「若干名」にて、設定なし。								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
教育学部	343 人 (100%)	8 人 (2.3%)	328 人 (95.7%)	7 人 (2%)
外国語学部	113 人 (100%)	3 人 (2.7%)	93 人 (82.3%)	17 人 (15%)
経済情報学部	146 人 (100%)	2 人 (1.4%)	140 人 (95.9%)	4 人 (2.7%)
看護学部	87 人 (100%)	2 人 (2.3%)	84 人 (96.6%)	1 人 (1.1%)
合計	689 人 (100%)	15 人 (2.2%)	645 人 (93.6%)	29 人 (4.2%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) <教育学部> 【教員】(公) 愛知県/石川県/愛媛県/大阪市/神奈川県/川崎市/岐阜県/神戸市/滋賀県/静岡県/東京都/富山県/長野県/名古屋市/新潟市/浜松市/福井県/福岡県/三重県/山形県/横浜市 (私) 岐阜聖徳学園高等学校/岐阜東高等学校(N 高等学校) 【幼稚園教諭】(私) 揖斐幼稚園/うぬま第二幼稚園/いづみ第二幼稚園/大垣幼稚園/明光幼稚園/国風第一幼稚園 【保育職】(公) 一宮市/稲沢市/大垣市/春日井市/各務原市/岐阜市/小牧市/中津川市/名古屋市 (私) はだしっこ保育園/日野保育園/石神井公園保育園 【公務員】(地方) 愛知県/大垣市/岐阜県/知立市/津市 【企業】ANA 大阪空港(株)/ (株)アイエイアイ/セコム(株)/ (株)オンダ製作所/ (株)丸杉/ (株)福井村田製作所/岐阜ペット(株)/山宗(株)/杉本商事(株)/大垣西濃信用金庫 他 【進学】岐阜大学教職大学院、愛知教育大学大学院、横浜国立大学教職大学院、福井大学教職大学院、上越教育大学教職大学院、岐阜聖徳学園大学大学院 他 <外国語学部> 【企業】Apple Japan 合同会社、ANA 中部空港(株)、ハウステンボス(株)、積水ハウス建設中部(株)、リコージャパン(株)、東建コーポレーション(株)、(株)エディオン、アパホテル(株)、(株)平和堂、岐阜プラスチック工業(株)、大日本土木(株)、岐阜信用金庫、大垣西濃信用金庫、ブリヂストンタイヤソリューションジャパン(株)、三甲(株)、(株)パローホールディングス、藤田螺子工業(株)、岐阜トヨタ自動車(株)、岐阜ダイハツ販売(株)、生活協同組合コープぎふ、中部国際空港旅客サービス(株)、日本トムソン(株)、ゲンキー(株)、東武トップツアーズ(株) 他				

【公務員】 (地方) 岐阜市／下呂市／滋賀県 【教員】 愛知県／岐阜県／滋賀県 【進学】 日本大学／岐阜聖徳学園大学大学院 他 <経済情報学部> 【企業】 アピ(株)／イオンリテール(株)／(株)市川工務店／イビデン(株)／(株)A Tグループ／(株)N T Tデータ S M S／(株)太田廣／(株)河合楽器製作所／河村電器産業(株)／(株)かんぼ生命保険／(株)共立メンテナンス／(株)畔柳工業／グローリー(株)／(株)高速／(株)コーアツ／酒井重工業(株)／三甲(株)／三立興産(株)／三和シャッター(株)／サンラリー(株)／(株)シーイーシー／シーシーアイ(株)／ジーエフシー(株)／杉本商事(株)／スズキ(株)／(株)扇港電機／(株)タック／ダイドー(株)／フタバ産業(株)／杉本商事(株)／関信用金庫／辰巳屋興業(株)／中央工機(株)／(株)榎屋／TSUCHIYA(株)／敦賀信用金庫／(株)T Dモバイル／日東工業(株)／日本アイ・ビー・エム(株)／日本電設工業(株)／日本電通(株)／(株)福井銀行／(株)ホンダロジスティクス／三浦工業(株)／三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券(株)／横浜冷凍(株)／米津物産(株)／ヤマザキマザック(株)／ヤマハ発動機販売(株)／(株)良品計画 他 【公務員】 可児市／美濃市／岡谷市／下諏訪町／岐阜県警察／愛知県警察／加茂消防事務組合／名古屋市消防／自衛隊(航空) 【教員】 誠恵学院誠恵高等学校 <看護学部> 【病院】 愛知医科大学病院／一宮市立市民病院／稲沢市民病院／恵那病院／大垣市民病院／大垣徳洲会病院／各務原病院／岐阜市民病院／岐阜大学医学部附属病院／江南厚生病院／神戸中央市民機構中央市民病院／小牧市民病院／さいたま赤十字病院／済生会滋賀県病院／静岡県立静岡がんセンター／鷺見病院／西濃厚生病院／高山赤十字病院／千秋病院／中京病院／中濃厚生病院／中部国際医療センター／東海病院／東海中央病院／東京慈恵会医科大学附属病院／東京ベイ・浦安市医療センター／名古屋記念病院／名古屋市立大学病院／名古屋大学医学部附属病院／日本医科大学附属病院／日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院／羽島市民病院／藤田医科大学病院／名城病院 他 【保健師】 神奈川県／常滑市／瑞穂市 【養護教諭】 愛知県／岐阜県 (備考)

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

- ・ 本学のシラバスは例年前年度の1月から各授業担当者に作成を依頼し、2月中旬までに作成する。2月中旬から各学部教務委員会によるシラバスチェックを実施し、必要に応じて改善の指示等を行い、3月下旬に Web システムにて公開する。
- ・ 本学では全学共通の「シラバス作成ガイドライン」を作成し、各学部教授会で周知している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

単位の認定については学則第 21 条に定めている。

第 6 章 単位の認定、卒業認定及び学位の授与

第 21 条 授業科目を履修し、単位修得の認定を受けた者には所定の単位を与える。

2 授業科目の単位修得の認定は、試験成績若しくは平常の学習成績、又は両者を総合して担当教員が行う。

3 成績評価は、秀（A：100～90 点）、優（B：89～80 点）、良（C：79～70 点）、可（D：69～60 点）、不可（F：60 点未満）の 5 段階をもって表し、可以上を合格とし、不可は不合格とする。なお、他大学等で修得した単位を本学で認定した場合は認定（T）とする。

4 授業形態、科目の特性などにより、前項の成績評価が困難なものについては、合格（P）、不合格（NP）とする。

- ・ 本学では全ての科目において成績評価方法、割合及び評価基準をシラバスで明示している。シラバスで明示した方法により成績評価を行い、秀・優・良・可の成績評価の場合は合格とし、単位を認定している。
- ・ 成績評価の基準は履修要覧に以下のように記載し、学生に示している。

判定	成績評価等	成績評価等の基準	GP
合格	秀	A:100～90 点（特に優秀な成績）	4
	優	B:89～80 点（優れた成績）	3
	良	C:79～70 点（良好な成績）	2
	可	D:69～60 点（合格と認められる成績）	1
不合格	不可	F: 59 点以下（合格と認められない成績）	0
失格	失格	G:試験を棄権した場合、出席日数が不足した場合	0
認定	認定	T:学則に則り、単位の認定がされた場合	—

また、授業形態、科目の特性などにより、5 段階評価（秀・優・良・可・不可）の成績評価が困難なものについては、次の表のとおりとする。

判定	成績評価等	成績評価等の基準	GP
合格	合格	P:単位を与える条件を満たしたもの	0
不合格	不合格	NP:単位を与える条件を満たさなかったもの	0

本学では学則第 22 条において「本学に 4 年以上在学し、第 14 条、第 15 条、第 16 条及び第 17 条の規定により所定の単位を修得した者は、学部教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。」としている。原則として 2 月に開催する各学部教授会において、後期修得科目をもって所定の単位を修得した者に対し卒業判定会議を行い、承認された者に対して学長が卒業を認

定する。				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
教育学部	学校教育課程	128 単位	有・無	単位
外国語学部	外国語学科	128 単位	有・無	単位
経済情報学部	経済情報学科	128 単位	有・無	単位
看護学部	看護学科	128 単位	有・無	単位
人文学部	人文学科	124 単位	有・無	単位
G P A の活用状況 (任意記載事項)		公表方法：特になし		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：資格取得状況について大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。 https://www.shotoku.ac.jp/carrier/		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページにて公表
URL アドレス http://www.shotoku.ac.jp/student-life/campus/index.php

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
教育学部	学校教育課程	700,000 円	300,000 円	360,000 円	教育充実費
外国語学部	外国語学科	700,000 円	300,000 円	360,000 円	同上 (令和 7 年度入学生より募集停止)
経済情報学部	経済情報学科	700,000 円	300,000 円	360,000 円	同上
看護学部	看護学科	700,000 円	300,000 円	700,000 円	教育充実費、実習費
人文学部	人文学科	700,000 円	300,000 円	360,000 円	同上

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 【奨学金制度】 ー入学者選抜が対象の奨学金ー ○スカラシップ [免除] ※全学部 教育学部：学費全額 (4 年間) 一般選抜前期日程標準科目方式合格者のうち成績上位者 経済情報学部：授業料全額 (4 年間) ・授業料半額 (4 年間) 一般選抜前期日程基礎科目方式合格者のうち成績上位者 看護学部：学費全額 (4 年間) ・授業料半額 (4 年間) 一般選抜前期日程標準科目方式合格者のうち成績上位者 人文学部：授業料全額 (4 年間) ・授業料半額 (4 年間) 一般選抜前期日程基礎科目方式合格者のうち成績上位者

○一般財団法人本願寺派教学助成財団奨学金〔給付〕 ※全学部 100,000 円（当該年度）2024 年度実績 経済的に修学が困難で、学業成績・人物ともに優秀な学生で、浄土真宗本願寺派の発展に寄与しようとする寺院子弟ならびに門徒子弟 ○日本学生支援機構奨学金 第一種奨学金（無利息）〔貸与〕 ※全学部 経済的に修学が困難で、学業成績・人物ともに優秀と認められ心身ともに健全な学生 自宅通学者：20,000 円/月、30,000 円/月、40,000 円/月、54,000 円/月 自宅外通学者：20,000 円/月、30,000 円/月、40,000 円/月、50,000 円/月、64,000 円/月 ○日本学生支援機構奨学金 第二種奨学金（利息付）〔貸与〕 ※全学部 経済的に修学が困難で、学業成績・人物ともに優秀と認められ心身ともに健全な学生 返還利息は卒業後年 3%以内 20,000 円/月～120,000 円/月（10,000 円単位で選択） 【障害学生の支援関係】 ・「岐阜聖徳学園大学における障害学生支援に関する指針（ガイドライン）」を定め、障害のある学生、その家族及びその他の関係者からの合理的配慮に関する相談窓口として学生支援センター学生支援室を設置している。 ・学生支援センター学生支援室は、障害の有無にかかわらず、全ての学生が等しい条件のもとで学生生活が送れるように支援するとともに、学生の心身の健康の保持増進を図ることを目的としている。 【学生相談室関係】 ・学生相談室は、学生個人の心理的な諸問題についてのカウンセリングを行い、学生生活を有意義かつ健康に送れるよう支援の充実を図ることを目的としている。 ・学生個人の修学、その他の日常生活における心理的な諸問題についてのカウンセリングを行う。 ・業務に必要な資料の収集及び整理保存を行う。 【障害学生支援室関係】 ・障害学生支援室は、障害のある学生の相談窓口として、障害のある学生が平等・公平な修学環境を得られるよう支援の充実を図っている。また、入学を希望する学生への情報提供及び相談対応の上、受験上の配慮に関する業務を行う。 ・障害のある学生の教育的ニーズを把握し、障害学生支援に係る関係部局及び学外機関等との連絡調整を行う。 ・学生サポーターの募集、養成及び支援組織運営管理を行う。 ・施設・設備のバリアフリー化に関する業務を行う。	b. 進路選択に係る支援に関する取組 （概要） 【就職関係】 〔教員採用試験対策支援〕 教員経験者による講義、面接や模擬授業等についての教員採用試験対策講座を開講し教員採用試験合格に向けて様々な支援を行っている。 （講座等の内容） ・教員採用選考試験対策（一般教養・教職教養・専門・直前対策） ・教員採用選考試験 2 次対策（模擬面接、実技、集団討論、模擬授業等） ・教員採用選考模擬試験（3 年次 12 月・3 月・4 年次 4 月） ・個人面接・集団討論対策
--	--

・願書、論作文添削指導 ・各県市教員採用選考試験説明会 〔公務員試験対策支援〕 筆記や面接などの公務員試験対策講座を開講し、支援を行っている。 （講座等の内容） ・公務員試験対策講座（筆記：8月・2～3月 各種面接、集団討論：4～8月） ・公務員就職ガイダンス・公務員内定者報告会 〔企業就職対策支援〕 3年次生から、実際の就職活動に向けたカリキュラム、各種講座を開講している。 3年次生後期及び4年次生前期にゼミ別に学生、教員、就職課職員との三者面談を行い、就職活動状況を把握しながら適切な支援を行っている。 （講座等の内容） ・キャリアセミナー（授業科目） ・インターンシップ（授業科目） ・就職合宿 ・就職支援講座（自己PR・志望動機作成講座・業界研究講座・就活マナーなど） ・学内合同企業説明会 ・資格取得講座（秘書技能検定、FP技能士、MOS、TOEIC、ITパスポート、ビジネス能力検定等） 〔看護師等国家試験対策支援〕 1年次生から学習進度や習熟度に応じて模試及び解説講座を行い、知識を定着させる。 また、学生を中心とした「看護師国家試験対策学生委員会」を組織し、勉強会の開催や国家試験対策への学生の要望を取り入れる等の取組を実施している。 1年次から学生個々の目標を把握し、キャリア支援講座を行い、さらに3年次生から、求人情報の提供や就職に関する助言、履歴書添削、面接指導等を教員と協力し支援している。 （講座等の内容） 看護師・保健師国家試験ガイダンス 看護師・保健師国家試験（模試・講座等） 【進学関係】 大学院進学、他大学への編入学などを希望する学生に対して、資料取り寄せから入学試験対策に至るまで支援を行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組 （概要） 【学生の心身の健康、保健衛生及び安全管理】 ・保健室は、学生の心身の健康の保持増進を図ることを目的としている。 ・学生の健康診断、健康相談、保健指導及び救急処置を行っている。 ・環境衛生検査を実施し、感染症の予防に取り組んでいる。 ・健康診断票、学生健康管理カードの作成や保管を行っている。 ・保健に関する統計・調査等の資料作成を行っている。 ・学生傷害保険・付帯賠償責任保険に関する業務を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学ホームページ上で公表している。URL アドレスは次のとおり。

<https://www.shotoku.ac.jp/outline/disclosure/>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A 4 とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F121310106052
学校名 (〇〇大学 等)	岐阜聖徳学園大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 聖徳学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		250人（－）人	235人（11）人	261人（11）人
内 訳	第Ⅰ区分	137人	121人	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅱ区分	59人	59人	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅲ区分	45人	44人	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	－	11人	
	区分外（多子世帯）	0人	31人	
家計急変による 支援対象者（年間）				－
合計（年間）				268人（12）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	-	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が廃止の基準に該当）	-	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	-	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	-	0人	0人
計	16人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2 年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	-
年間計	-
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	-	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	29人	0人	0人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	-	0人	0人
計	30人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。